

城のある都市復活

# 福岡城だより

2013.春

SPRING

NO. 37



福岡城彩発見フォトコンテスト入選作品 今津盛一様「桜咲く頃」

## 臣下百姓の罰恐るべし

NHK福岡放送局

局長 田口 五朗



ご存知の通り、来年の大河ドラマは「軍師官兵衛」です。現在、脚本作りと主役を演じる岡田准一さん以外のキャスティングなどが鋭意進められているところです。

五九歳で没した官兵衛が九州と関わったのは、秀吉の九州攻めの軍監を務めた四一歳の時。その後、豊前入国、中津城築城、名護屋城の縄張、朝鮮出兵、関ヶ原の戦い時の九州平定、そして福岡入りと人生後半は九州と密接な関わりを重ねています。

ドラマのプロデューサーは秀吉の天下統一を演出した軍師の目から見た太閤記そして天下統一を描きたいと話していますが、私としては、官兵衛の九州での活躍を出来るだけ厚く描いて貰えるよう要請しています。

官兵衛が残した家訓のような言葉の中に「神の罰より主君の罰おそるべし。主君の罰より臣下百姓の罰恐るべし。臣下百姓にうとまれては国家を失ふ」という言があるそうです。歴史学者の小和田哲男さんは官兵衛が行きついた境地と分析しています。

政治や経済が停滞し日本全体が閉塞感に包まれている中で、この「官兵衛の境地」が国民や政治家の目にどう映るのか。こうしたメッセージを訴えかける大河ドラマに仕上げて貰いたいと期待しています。

# 市民討論会「軍師官兵衛がつくる福岡城」開催される

福岡城・鴻臚館の将来を市民と考える実行委員会 会長  
(N P O 法人鴻臚館・福岡城歴史・観光・市民の会理事長)

石井 幸孝



『黒田如水(官兵衛)がつくった難攻不落の福岡城、大河ドラマ「軍師官兵衛」とともに観光都市のランドマークに甦るか。「お城のある町づくり」も目指そう。2年間の「新しい公共」福岡城・鴻臚館モデル事業の総括と展望を市民、関係者、行政一体になって討論しよう。』そんな趣旨の市民討論会が、平成25年3月30日(土)13:30~16:30、アクロス福岡B2イベントホールで行われ、参加者約350名と盛会だった。

主催は福岡城・鴻臚館の将来を市民と考える実行委員会(福岡市の関係部長や福岡商工会議所、福岡アジア都市研究所、西日本鉄道、NPO鴻臚館・福岡城歴史・観光・市民の会などで構成)、共催NHK福岡放送局。

西村幸夫東京大学副学長・教授による基調講演「福岡七不思議」

主宰者挨拶(実行委員会会長石井幸孝)、福岡市長挨拶(代理伊藤裕司観光コンベンション部長)の後、西村幸夫東京大学副学長・教授による基調講演が「福岡のまちのおもしろさ—お城のあるまちのまちづくり」と題して行われた。街づくりの権威であり、地元福岡の出身でもあり、①なぜ博多と福岡を隣接させたのか?②なぜ城の周りに官公庁街が形成されなかったのか?③なぜ大博通りは都心に向かっていないのか?④なぜ明治通りが今の場所に通されたのか?⑤なぜ明治通りはそれほど拡幅されなかったのか?⑥なぜ天神や中州は繁華街となったのか?⑦なぜ博多駅は今の場所にあるのか?という興味深い七不思議について福岡の街を解析的に約50分説明した。そこには黒田官兵衛・如水の物流を重視したレイアウトがあると指摘した。

「新しい公共・福岡城・鴻臚館の将来を市民と考える実行委員会」の活動報告

続いて、本年度で2年目の区切りになる、福岡城・鴻臚館の将来を市民と考える実行委員会の活動報告が、4分科会ごとに4人の主務

者から報告があった。

「企画分科会」について石井幸孝会長より報告。「新しい公共」の内閣府支援プロジェクトの成果、福岡城の立派な石垣が見えるよう本丸辺は樹木も切ろう、「舞鶴公園」「大濠公園」も一体化して明るい・楽しい「福岡城公園」にしよう、観光都市のランドマークとして活かしていくこう、などの方向付けができつつある、市役所の組織も観光と文化財が融合するなどの動きも出てきたと報告。大河ドラマも黒田官兵衛は戦国時代500年に終止符を打って、福岡で大きなフィナーレを迎えた、そんな舞台になって欲しいなどとも付け加えた。いずれも活発な活動を行った「まち歩き」(磯村正人委員)、「まちづくり」(三角薫委員)、「市民フォーラム」(松本法雄委員)の報告が続いた。

会場の皆さんも参加して福岡城・鴻臚館の将来を討論

続いてパネルディスカッションに移った。最初に会場の皆さんから意見や問題提起をしてもらってから、それも加えて討論した。会場からは「福岡は見どころが少なく、観光客が素通りする。大河ドラマを機に福岡城の復元や観光客の誘致を求める」声が多かった。議論では①福岡城公園一体案でとりくみないこと、②福岡城・鴻臚館を活かしたまちづくり、③福岡城復元整備と市民募金、④大河ドラマの舞台・福岡、⑤官民協働の仕事の進め方、をテーマに西村幸夫教授をコーディネーターとして、福岡市から藤尾浩委員(文化財部長)、大谷雄一郎委員(みどりのまち推進部長)、商工会議所から三角薫委員、市民代表の小松至誠氏、それに会長の石井幸孝が加わって、市も復元構想や公園一体化構想に取り組む、大河ドラマを機に福岡城復元に向けた市民の関心も高めていきたい、こんな時期にこそ、官民協働の場での議論や方向付けが大切ということで締めくくられた。

福岡城・鴻臚館という国の史跡、市民の貴重な財産をもっともっと活かしていくこう、そんな熱い議論が盛り上がった半日だった。



## 福岡市議会傍聴記

平成25年3月4日の定例市議会に於いて活発な質疑応答があり市民の声を代表した中央区選出の稻員大三郎氏(当会正会員)から大河ドラマ「軍師官兵衛」や新しく直行便が飛行することになったアムステルダムなど、福岡の観光政策について、この機会を最大限に活用し取り組むべきではないかと福岡市の考えを聞いた。

高島宗一郎市長から福岡城・鴻臚館におけるデジタル技術を活用した当時の情景を体感できる観光案内の実施や、歴史・文化観光拠点など魅力の向上に取り組むと共に、セントラルパーク構想の推進や福岡城整備基本計画の策定、福岡オープントップバスの活用により、都心部における歴史などの既存資源を生かしていきます。

また、平成26年のNHK大河ドラマ「軍師官兵衛」放映を控え、黒田官兵衛ゆかりの地などを生かした回遊コースの開発等、世界ナンバーワンのおもてなし都市づくりに向け、積極的に取り組んでいくと表明されました。

以下、平成25年度福岡市が挙げている舞鶴公園関連の取り組みと予算を紹介します。

(福岡市の予算資料のご案内より抜粋)

### 1. 黒田官兵衛プロジェクト【71,119千円】

NHK大河ドラマ「軍師官兵衛」にあわせたプロモーション活動、

史跡・遺物の公開や市民講座を実施

関連史跡や文化財のPR、受け入れ環境の整備を行い市内の回遊を促進し、様々なプロモーションにより観光客を誘致するなど、歴史・文化資源の価値を学び、市民の歴史認識を高め、内外からの福岡に対する愛着を深める。

### 2. 鴻臚館跡整備基本構想・福岡城跡整備基本計画【14,435千円】

鴻臚館:整備・活用の基本方針を定める整備基本構想の検討

福岡城:整備・活用の具体的な計画を定める整備基本計画の策定

### 3. 日本で唯一の歴史資源活性化事業【32,644千円】

歴史・文化資源(鴻臚館・福岡城など)を集客資源として活用

### 4. セントラルパーク構想推進事業【13,050千円】

大濠・舞鶴公園の一体的活用に向けた検討等

### 5. 福岡の特性を生かした教育の推進【23,265千円】(教育委員会)

福岡の自然や歴史、文化的・社会的資源を活用した教育を推進し、郷土を愛し守り伝える心を育み、これから社会を支え創造する人材を育成します。

### 6. 福岡検定【9,000千円】

多くの市民に福岡の歴史的価値や、観光資源の素晴らしさを再発見していただくことにより、福岡市民一人ひとりに福岡の魅力を発信する「福岡通」となっていただき、福岡への集客増加に繋げる。



# 会員からのよもやま話

古里、福岡に愛着と誇りをもとう！

鴻臚館・福岡城歴史・観光・市民の会

案内人 坂本 俊文

来年のNHKの大河ドラマに「軍師

官兵衛」が決定したことは、あらゆる面で愛する福岡を大いにアピールできる、またとない機会を得たのではない

に寄与しようではありませんか。

我々市民の会も福岡の活性化に大い

に寄与しようではありませんか。

黒田家の歴史で最も貧窮し、存亡の危機に陥り苦しかった時代が備前、今の岡山県の福岡であり、それに負けず

に敢然と立ち上がったのが官兵衛の曾祖父高政公、祖父の重隆公とその奥方達だったのです。その福岡は、官兵衛のよき理解者であり続けた父職隆公の生誕の地でもあるのです。

この人なくば秀吉の天下統一はなかったと万人が認めた官兵衛。関が原の戦いで、貴公のおかげで勝てたと家康に言わしめた官兵衛の息子長政公。二人は戦国乱世の終焉に大きな役割を果たしたのです。

筑前お国入りを果たし、官兵衛親子

は黒田家代々の労苦に思いを馳せ、感謝の念を忘れてはならないとの誓いを込めて、この地を福岡と命名したと思われます。そうです！二人は福岡の名

付け親なのです。

それと、昔々この地、福岡城内に鴻臚館があつたことを忘れてはなりません。遣唐使や留学生達が命をかけて中國へ渡り学んできなければ、平城京や平安京の文化、文明、学問、技術等の花は開かなかつたでしよう。いや今の日本はなかつたかもしません。

福岡は文明、文化の導入口、玄関なのです。我々大人が、鴻臚館、黒田官兵衛を学び知ることで、未来ある子ども達に古里、福岡に愛着と誇りを持つてもらえるのではないでしようか。近世都市、福岡を造り上げた如水公、長政公親子、これを基盤にして福岡は現在も成長を続けています。

苦しい事に負けずに立ち上がり、官兵衛さんからのメッセージが聞こえてきます。

頑張ろう！福岡の大人、そして子ども達。

福岡市民の会顧問である三人が扮装されました。

## 「おおほりまつり」に馳せ参じる！

来年の「軍師官兵衛」を盛り上げるために、県と市と商工会議所がタッグを組んで、「黒田官兵衛プロジェクト」を立ち上げました。総勢七〇名ほどのメンバーで、当会の石井理事長も委員です。

三月三十一日（日曜日）の「おおほりまつり」でキックオフ！ 黒田官兵衛を囲み黒田長政を含む、黒田二十五騎が勢ぞろいで勝ち闘を：エイエイオー

今年・来年と福岡が「軍師官兵衛」一色に動き出すことを期待しています。

## 編集後記

大河ドラマ「軍師官兵衛」の効果により、各界で盛り上げようとの機運が出てきました。今後は市民の皆様がいかに福岡城に興味を持ち、黒田官兵衛を広げていくかに懸かっています。

私も、もつと官兵衛や黒田藩を知つていただける、考えていただける紙面を作りたいと思います。  
今後ともよろしくお願ひいたします。



## 新規会員名簿（平成25年3月31日現在）

### 正会員(個人)

廣田潤子

### 一般会員(個人)

檜垣恵美子

### 黒川昌宏

#### 一般会員(団体)

(株)松屋菓子舗

### 代子之策子

### 満節忠俊昭

### 地田上田田

### 福池淵中和

## 編集・発行 鴻臚館・福岡城歴史・観光・市民の会

〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-12-15 読売福岡ビル7階

TEL 092-716-8238 FAX 092-716-8254

HPアドレス <http://fukuokajokorokan.info>

E-mail [staff@fukuokajokorokan.info](mailto:staff@fukuokajokorokan.info)

[デザイン・印刷] 城島印刷株式会社

福岡市民の会

検索